

永崎地区防災緑地ワークショップ かわら版

津波防災のまちづくり（永崎地区）では、今後数十年から百数十年の頻度で発生すると想定される頻度の高い津波に対して、海岸堤防の整備により人命や財産を守ることとしておりますが、今回と同様の津波や、それを上回る津波に対しては、海岸堤防の背後に津波エネルギーの減衰や漂流物の捕捉効果を発揮する防災緑地を整備することとしております。

そうした防災緑地の整備計画に際して、地域の方の意見や色々な視点のアイデアを計画に反映させ、親しまれる防災緑地とすることを目的として、地域の皆さんと共に全4回ワークショップを行います。

第2回ワークショップでは、地域の方々に親しまれる防災緑地とするために、具体的に【どこで何をしたいか】、【それは何故か】、【そのために必要なモノは何か】などについて話し合いを行い、意見を絵に整理しました。

第3回では、情報提供として行われた海岸線における松林の必要性・管理に関する事例や地域の信仰や祭礼、慰霊の意味合いなどを踏まえ、第2回ワークショップの意見を反映した防災緑地の計画素案を広げて、『こんな使い方をしたい、できる』、『永崎地区にふさわしい形』について、グループで話し合いを行いました。最後に、『最も重要と思うこと』をキーワードとして考えていただき、整理しました。

永崎地区防災緑地ワークショップ 全4回の流れ

第1回ワークショップ

ステップ1：防災緑地を知ろう！

第2回ワークショップ

ステップ2-1：こんな防災緑地がいいな！

第3回ワークショップ

ステップ2-2：防災緑地の計画案をつくろう！

第4回ワークショップ

ステップ3：こんな防災緑地になる！ **今回実施**



◆情報提供◆

廣瀬先生といわき建設事務所から、海岸線における松林の必要性や管理について、事例を用いた情報提供が行われた。

続 風土から防災緑地を考える（廣瀬先生）

その地域の風土が、その土地の自然と人々の生活などに密接していることを、能代海岸の砂防林「風の松原」を事例に説明があった。

また、津波による被災地として、実用性ばかりではなく地域の風土と防災緑地との絡み、亡くなられた人々を慰める慰霊の意味合いなどを考えることが重要と説明があった。

・その地域の風土ゆえ、江戸時代に医師が必要性を唱え、秋田藩に引き継がれ、現在は行政と市民が守っている。

- ・「風の松原」があるがゆえ、飛砂から町が守られているという認識が強いので、国や県・市・地域の方々が協力して管理している
- ・散策路、広場などがあり、散歩や野鳥観察を楽しんだり、地域の方々に親しまれている
- ・民間の方々が結成された「風の松原に守られる人々の会」の会員の方が、中高生を交えて年2回ほど下草をきれいに刈り、白い砂と松の白砂青松の状態をどれぐらいの手間で維持できるかを試されている
- ・学校の行事と組み合わせて管理されている



廣瀬先生の講話風景

第3回 永崎地区防災緑地ワークショップ ープログラムー

日時：平成25年5月21日（火）18:30～20:30
場所：市立江名中学校 会議室
参加人数：16名

1. はじめに

- ・開会の挨拶

2. 第2回ワークショップのふりかえり

- ・かわら版の説明
- ・本日の予定

3. 情報提供

- ◆風の松原（廣瀬先生）
- ◆水軒堤防（いわき建設事務所）

5. グループワーク

- ◆避難ルートの確認
- ◆防災緑地の計画素案の説明
- ◆計画案に対する自由な意見出し
 - >「こんな使い方をしたい、できる」前回の意見の確認（永崎住民の立場から、地区外からの利用者の立場から）
 - >永崎にふさわしい形（園路、ストリートファニチュア、植栽、遊具など）
- ◆コンセプトについて
- ・発表

6. まとめ

- ・本日の振り返り
- ・次回の予定
- ・閉会の挨拶



ワークショップ風景

水軒堤防 松原再生の取り組み（福島県いわき建設事務所）

永崎地区防災緑地と似たような整備の堤防として、和歌山県の海岸沿いにある「水軒堤防」を事例に、地域の方々の取り組みや活動によって、親しまれる堤防になっていると説明があった。

- ・昔の美しい風景を取り戻すことを目的に、住民の有志で「水軒の浜に松を植える会」を結成し、松の植樹や清掃を行い管理している
- ・小中学生による植樹、清掃活動、子供たちに親しまれる松林の環境づくりなど、ボランティアを通して様々な取り組みを行っている
- ・住民と一緒に松を植える活動が行われている

第4回

永崎地区防災緑地
ワークショップの内容

平成25年6月25日（火）

時間：18:30～20:30 場所：市立江名中学校

内容：こんな防災緑地になる！ ◆防災緑地の計画内容を確認し、利活用と管理について検討



グループ討議

地域の方々に親しまれる防災緑地とするために、防災緑地の計画案を広げて、『こんな使い方をしたい、できる』、『永崎地区にふさわしい形』について話し合いを行い、最後に『最も重要と思うこと』をキーワードとして考えていただき、整理しました

Aグループの主な意見



■最も重要と思うこと

- やっぱ防災
- 防災＝防犯
- ブロックの連携とシンボルを表現
- 日の出のアピール
- 防災緑地（施設）に頼らず逃げる！

【機能について】

- 防災緑地の計画としては、遊園地的な要素が強すぎる。遊びや楽しみよりも防災機能を優先するべきだと思う

【施設について】

- 新設護岸部分に階段が4箇所計画されているが、震災以降、海岸線が上がってきており歩けないため、無くても良いと思う
- 園路は、舗装せずに自然な感じの土が良いと思う
- 地域の人が長年、ゴミや騒音に悩まされているため、駐車場は基本的に無くして欲しい。駐車場を整備する場合は、『有料にする』、『夜間は閉鎖する』、『ゴミは役所が片付ける』など、地域の人に迷惑がかけられないように考えて、管理をしっかりと欲しい

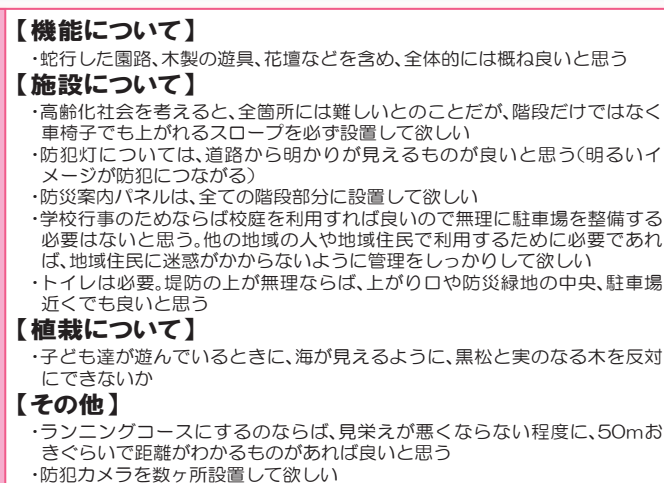
【植栽について】

- 防災のことを考えて、園路などの平坦部分にも植えて、全体的に樹木を増やしても良いと思う

【その他】

- 毎月11日に供養をしている塔婆があり、その場所を整備して慰霊碑を建てる
- 毎年行われているサンシャインマラソンを観戦する場所を作って欲しい
- 緑地を一体的に利用するために水門上に地域のシンボルとなるような橋を架けると良いと思う

Bグループの主な意見



【機能について】

- 蛇行した園路、木製の遊具、花壇などを含め、全体的には概ね良いと思う

【施設について】

- 高齢化社会を考えると、全箇所には難しいとのことだが、階段だけではなく車椅子でも上られるスロープを必ず設置して欲しい
- 防犯灯については、道路から明かりが見えるものが良いと思う（明るいイメージが防犯につながる）
- 防災案内パネルは、全ての階段部分に設置して欲しい
- 学校行事のためならば校庭を利用すれば良いので無理に駐車場を整備する必要はないと思う。他の地域の人や地域住民で利用するために必要であれば、地域住民に迷惑がかけられないように管理をしっかりと欲しい
- トイレは必要。堤防の上が無理ならば、上がり口や防災緑地の中央、駐車場近くでも良いと思う

【植栽について】

- 子ども達が遊んでいるときに、海が見えるように、黒松と実のなる木を反対にできないか

【その他】

- ランニングコースにするのならば、見栄えが悪くならない程度に、50mおきぐらいで距離がわかるものがあれば良いと思う
- 防犯カメラを数ヶ所設置して欲しい



■最も重要と思うこと

『つなぐ』がキーワード

- 堤防と景観
- ロマン防災緑地
- 夢をつなげよう防災緑地
- 未来に続く道
- 夢と安心
- 津波に負けない！
- 地域の和と輪

Cグループの主な意見



■最も重要と思うこと

- 年間を通してきれいな緑地にしたい
- 人命を守る
- 防災のちゃんとした海岸
- 遊べないのはいらない！
- いつまでもきれいで自慢出来る防災緑地

【機能について】

- 散策路があり、散歩・ランニングなどが出来るなど、概ね良いと思う

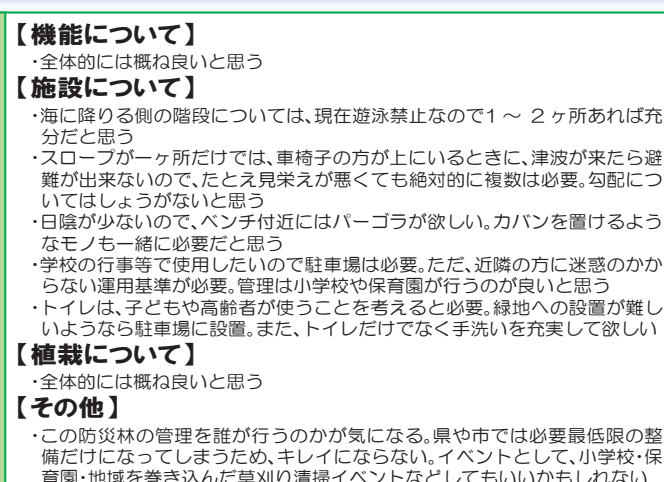
【施設について】

- 階段は現在の位置を含めて、海岸へ降りるために、もう1箇所は欲しい
- 園路に、散歩・ランニング時に距離を書いたプレート（距離表）などがあると楽しみが増えるので設置して欲しい
- 防災緑地をつくるにあたって駐車場は無いという前提で始まったが、やはり必要。サーフィンや花火にきた人が、駐車する場所がないと違法駐車が増える可能性があると思う
- トイレがないのは緑地を汚すことになる。水道も必要。緑地内が無理であれば道路側でも良いと思う
- 防災案内パネルについては、「ここは永崎」だということがわかるような永崎らしいキャッチフレーズをつけて、他地区とは違う「何か」を出したい

【その他】

- 管理に関して、子どもたちも年1回は海岸線を掃除しているが、年2回くらいは地域で協力して行う。地元の人々が協力し助け合って一つのことを成すというボランティア精神を子どもの頃に経験することが今後の地域づくりに必要なことと思う

Dグループの主な意見



【機能について】

- 全体的には概ね良いと思う

【施設について】

- 海に降りる側の階段については、現在遊泳禁止なので1～2ヶ所あれば充分だと思う
- スロープがーヶ所だけでは、車椅子の方が上にいるときに、津波が来たら避難が出来ないので、たとえ見栄えが悪くても絶対に複数は必要。勾配についてはしょうがないと思う
- 日陰が少ないので、ベンチ付近にはパーゴラが欲しい。カバンを置けるようなモノも一緒に必要だと思う
- 学校の行事等で使用したいので駐車場は必要。ただ、近隣の方に迷惑のかからない運用基準が必要。管理は小学校や保育園が行うのが良いと思う
- トイレは、子どもや高齢者が使うことを考えると必要。緑地への設置が難しいようなら駐車場に設置。また、トイレだけでなく手洗いを充実して欲しい

【植栽について】

- 全体的には概ね良いと思う

【その他】

- この防災林の管理を誰が行うのが気になる。県や市では必要最低限の整備だけになってしまったため、キレイにならない。イベントとして、小学校・保育園・地域を巻き込んだ草刈り清掃イベントなどしてもいいかもしれない

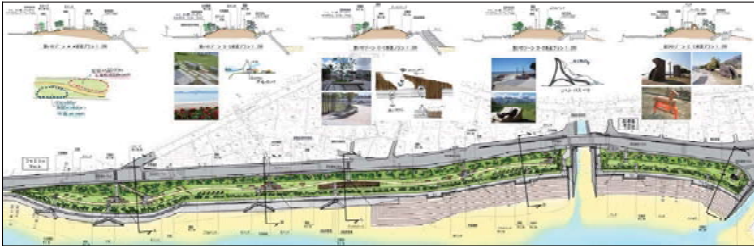
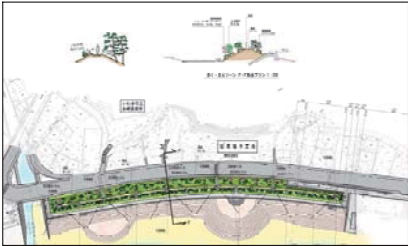


■最も重要と思うこと

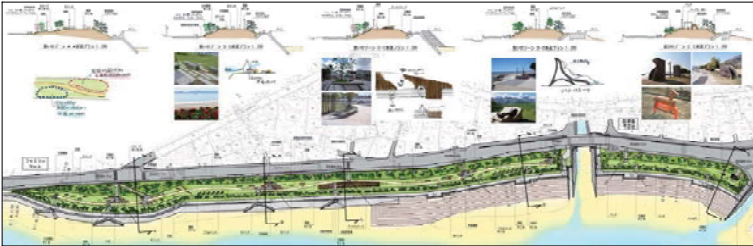
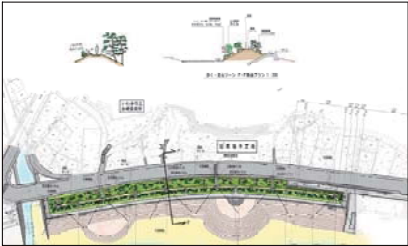
『地域が笑顔になれ愛される防災林』

- 地域に根ざした防災 / 津波低減 / 命を守る / 防災
- 景観をよくする
- 地域に愛されるもの
- 永崎地区の人々の笑顔のため

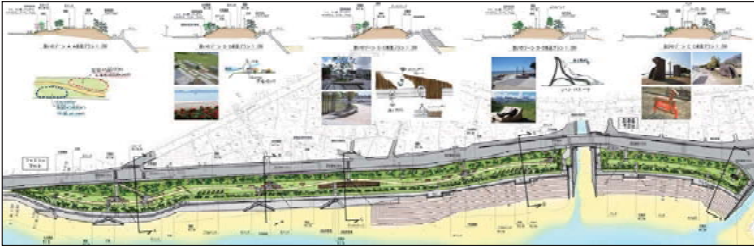
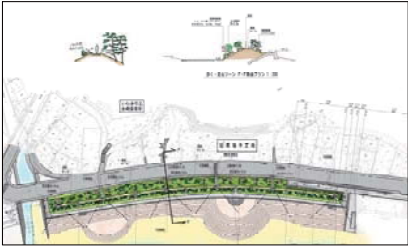
Aグループ

計画要素					
計画要素について	施設	機能	・遊びや楽しみより防災機能を優先するべき。	・左に同じ。	・左に同じ。
		階段	・新設護岸部分は砂浜がないので階段をつくっても降りる場所がない。無意味。	・議論していない。	・議論していない。
		スロープ	・議論していない。	・議論していない。	・議論していない。
		園路	・できれば舗装せず土の自然な感じの道がいい。	・左に同じ。	・園路の高さのまま高台に避難できる歩道橋をつくる。
		石ベンチ	・施設より樹木を増やす。	—	—
		ごろ寝ベンチ	・施設より樹木を増やす。	—	—
		デッキステージ	・施設より樹木を増やす。	—	—
		花壇	・施設より樹木を増やす。	—	—
		バーゴラ	—	・議論していない。	—
		遊具	—	・防災機能を優先して遊具はおまけ程度に配置する。	—
		照明	・一番明るくなるものがいい。	・左に同じ。	・左に同じ。
		駐車場	—	・右に同じ	・駐車場は基本的にないほうがいい。地域の人が長年迷惑してきた。つくるなら、有料にする、夜間は閉鎖する、ゴミは役所が片付けるなどの管理をする。
		トイレ	・議論していない。	・議論していない。	・議論していない。
		植栽	・平地の部分にも植えて全体的に樹木をもっと増やす。全部が緑地でも良い。	・左に同じ。	・左に同じ。
		防災案内パネル	・議論していない。	・議論していない。	・議論していない。
その他		・サンシャインマラソンを観戦する場所をつくる。横断幕をかける。 ・緑地を一体的に利用するために水門上に橋が必要。地域のシンボルとなるような橋をつくる。(太鼓橋ごしに朝の日の出をながめることができる場所にする。) ・現在は、塔婆をたてて毎月11日に供養をしている。慰霊碑をつくる。(風化させない) ・昔あった「のろし台」などの危険を知らせる施設をつくってはどうか。			
最も重要と思うこと		○やっぱり防災 ○防災＝防犯 ○ブロックの連携とシンボルを表現する ○日の出のアピール ○防災緑地(施設)にたよらずまず逃げる！			

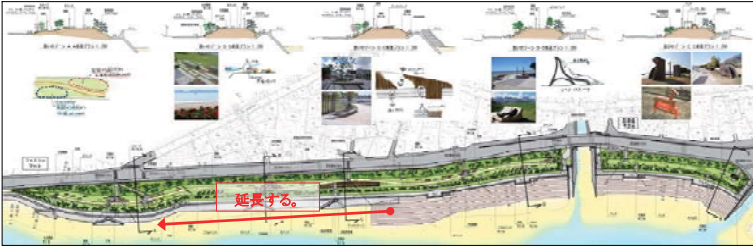
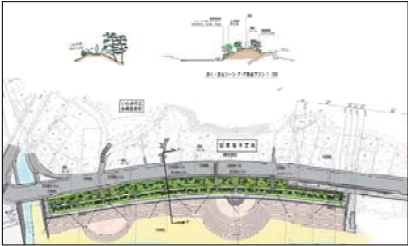
Bグループ

計画要素					
計画要素について	施設	機能	・蛇行した園路、木製の遊具、花壇などを含め、全体的には概ねこれで良いと思う。	・議論していない	・議論していない
		階段	・議論していない	・議論していない	・議論していない
		スロープ	・高齢化社会を考えると、全箇所には難しいとこのだが、階段だけではなく車椅子でも上れるスロープを必ず設置して欲しい。中央部や東端の大平川付近などに設置して欲しい。この1箇所だけではスロープで上った人は同じ場所に居てこなければならぬ。	・西端の大平川付近と東端の天神前川付近に設置して欲しい。	・西端の天神前川付近と中央部と東端付近の3箇所に設置して欲しい。
		園路	・蛇行しているほうが、広場など有効に活用できると思うので良い。	・議論していない	・走るスペースが少し狭い。無理でももう少し広げた方が良い。
		石ベンチ	・コンクリートや石は、もし津波が来た時に後ろの住宅に迷惑がかかる。長持ちするもので迷惑がかからない材質のものを考えてもらいたい。例えば陶器など、温かい感じのベンチが良い。	—	—
		ごろ寝ベンチ	・雨よけの屋根をつけて欲しい。	—	—
		デッキステージ	・木は10年経つと腐食が激しくなり、管理が難しいと思うので、長持ちするもので迷惑がかからない材質のものを考えてもらいたい。	—	—
		花壇	・議論していない	—	—
		バーゴラ	—	・議論していない	—
		遊具	—	・議論していない	—
		照明	・防犯灯については、道路から明かりが見えるものが良い(明るいイメージが防犯につながると思う)。	・左と同じ	・左と同じ
		駐車場	—	・右と同じ	・駐車場については、学校行事のためならば校庭を利用すれば良いので無理に整備する必要はないと思う。他の地域の人(海水浴客)や地域住民で利用するために必要ということであれば、地域住民に迷惑がからないように管理面をしっかりと整備すれば良いと思う。
		トイレ	・トイレは必要。堤防の上が無理ならば、上がり口や防災緑地の中央、駐車場近くでも良いと思う。	・左と同じ(左と合わせて1箇所)	・左と同じ(防災緑地として1箇所)
計画要素について	施設	植栽	・議論していない	・子ども達が遊んでいるときに、海が見えるように、黒松と実のなる木を反対にできないか。	・議論していない
		防災案内パネル	・全ての階段部分に設置してほしい欲しい。また、防災案内パネルの内容に、避難場所までの距離や何分かかるかなどを表示して欲しい。	・左と同じ	・左と同じ
		その他	・放射能測定器を各公園にあるように、1箇所ずつくらいはあった方が良い。 ・ランニングコースにするのならば、見栄えが悪くない程度に、50mおきぐらいで距離がわかるものがあれば、学校としてもより利用しやすくなるのではないかな。 ・全体的な管理面については、うちの学校(江名中学校)にJRC委員会があり、月1回もしくは毎週1回、日にちを決めてボランティアで清掃はできると思う。 ・防犯カメラを数ヶ所設置して欲しい。 ・地下道を復活する場合は、地域住民以外の人のいたらず書きやゴミ捨てがかなりあったので、各場所に防犯カメラを設置していただきたい。		
最も重要と思うこと		『つなぐ』がキーワード ■堤防と景観 ■ロマン防災植地 ■夢をつなげるよう防災緑地 ■未来に続く道 ■夢と安心 ■津波に負けない！ ■地域の和と輪			

Cグループ

計画要素					
計画要素について	施設	機能	・散策路があり、散歩・ランニングなどが出来ることはよいと思う。概ねよいのではないかな。	・左に同じ	・左に同じ
		階段	・現在の位置を含めてもう1箇所は欲しい。	・これでよいと思う	・これでよいと思う
		スロープ	・あったほうがよい。	・議論していない	・議論していない
		園路	・形状は特に意見はなかったが、仕上げの舗装について歩く、走るに適した舗装であって欲しいという意見があった。今後の進捗の中で要望したい。 ・散歩・ランニング時、距離を書いたプレート(距離表)などがあると楽しみが増えるので設置して欲しい。 ・緑量計があるとよい。	・子どもたちが伸び伸び走れるのはよい。	・形状は特に意見はなかったが、仕上げの舗装について歩く、走るに適した舗装であって欲しいという意見があった。今後の進捗の中で要望したい。 ・散歩・ランニング時、距離を書いたプレートなどがあると楽しみが増えるので設置して欲しい ・緑量計があるとよい
		石ベンチ	・散歩やランニングの途中で休憩できるのはよい。	・左に同じ	・左に同じ
		ごろ寝ベンチ	・議論していない	・議論していない	・議論していない
		デッキステージ	・議論していない	・議論していない	・議論していない
		花壇	・議論していない	・議論していない	・議論していない
		バーゴラ	—	—	—
		遊具	・設置できる範囲のものでよい。(特にこういう遊具が欲しいという意見は出なかった)	・左に同じ	・左に同じ
		照明	—	—	—
		駐車場	・防災緑地をつくるにあたって駐車場は無いという前提で始まったが、やはり必要。現在計画されている台数では足りない。小、中学校の保護者は車で来る。保育所も駐車場が足りないし、サーフィンや花火に来た人が停める場所がない。駐車する場所がないと違法駐車が増える可能性がある。 ・川の近くの駐車場予定地は2階建て駐車場にしてはどうか？ ・駐輪場も必要。	・子どもを連れてきても車を停める場所がないのは困る。	・保育所のお迎えなど今でも駐車スペースが足りないので、駐車場があると助かる。
		トイレ	・トイレがないのは緑地を汚すことになる。水道は必要。緑地内が無理であれば道路側でもよい。	・遊具のある場所の近くにトイレが欲しい。緑地へ遊びに来る人のために、出来る限り近いところに設置して欲しい。	・左に同じ
植栽	・特に議論していない	・特に議論していない	・特に議論していない		
防災案内パネル	・「ここは永崎だ」ということがわかるような永崎らしい案内板が欲しい。「夕日がきれいな永崎・・・」など、キャッチフレーズをつけて、他地区とは違う「何か」を出したい。	・左に同じ	・左に同じ		
その他	・管理—子どもたちも年1回は海岸線を掃除しているが、年2回くらいは地域で協力してやる。・地元の人間が協力し助け合って一つのことを成すというボランティア精神を子ども達の頃に経験することが今後の地域づくりに必要なこと。 ・役所とうまく付き合い対等なものと言える関係作りも必要。 ・防災無線—今までの防災無線はほとんど役に立っていない。今回の地震も4割の人が聞かえない、わからなかったもので、もっと聞こえる、きちんと伝わる方法を考えて欲しい。				
最も重要と思うこと	■年間を通してきれいな緑地にしたい ■防災のちゃんとした海岸 ■遊べないのはつらい！ ■いつまでもきれいで自慢出来る防災緑地にしていけたらと思います。 ■防災緑地が完成し管理するに当たり、県、市に全部任せるのではなく、子どもたちにもボランティア精神を植え付け、大人になるにつれ人間づくりに貢献すると思います。 ■人命を守る				

Dグループ

計画要素					
計画要素について	施設	機能	・概ね了承を得た。	・左に同じ。	・左に同じ。
		階段	・海に降りる側の階段については、現在遊泳禁止なので1〜2ヶ所あれば充分。また、現在砂浜がないので、砂浜が戻ってきたら、今ある階段を延長する。	・議論していない	・議論していない
		スロープ	・スロープが1ヶ所だけでは、車椅子の方が上にいるときに、津波が来たら、避難が出来ないので、複数が必要。たとえそれが見栄えが悪くても絶対的に必要。勾配についてはしようがない。	・左に同じ。	・左に同じ。
		園路	・議論していない。	・議論していない。	・議論していない。
		石ベンチ	・議論していない。	—	—
		ごろ寝ベンチ	・議論していない。	—	—
		デッキステージ	・概ね了承を得た。	—	—
		花壇	・議論していない。	—	—
		バーゴラ	・日陰が少ないので、ベンチ付近にはバーゴラが欲しい。カバンを置けるようなモノも一緒に必要。	・左に同じ。	・左に同じ。
		遊具	・概ね了承を得た。	・概ね了承を得た。	・概ね了承を得た。
		照明	・議論していない。	・議論していない。	・議論していない。
		駐車場	—	・右に同じ。	・学校の行事等で使用したいので必要。ただ、近隣の方に迷惑のかわらない運用基準が必要。以前は大変迷惑をしていた様子だった。管理は小学校や保育園が行うのがいいかもしれない。
		トイレ	・子どもや、高齢者が使うので、必要である。園内への設置が難しいようなら、駐車場に設置する。また、トイレだけでなく手洗いを充実して欲しい。	・左に同じ。	・左に同じ。
植栽	・概ね了承を得た。	・左に同じ。	・左に同じ。		
防災案内パネル	・議論していない。	・議論していない。	・議論していない。		
その他	・トイレを駐車場に設置した場合、子供が一人でできるような安全な通路が必要。例えば、横断歩道や地下通路を整備する。ただ地下通路は危険が多いように感じる(防犯・防災上)ので、もし地下通路を使用するようなら、明るい地下通路が望ましい。 ・防災林の管理を誰が行うのかが気になる。県や市では必要最低限の整備だけになってしまったため、キレイにならない。イベントとして、小学校・保育園・地域を巻き込んだ草刈り清掃イベントなどしてもいいかもしれない。				
最も重要と思うこと	『地域が笑顔になれ愛される防災林』 ■地域に根ざした防災/津波低減/命を守る/防災 ■景観をよくする ■地域に愛されるもの ■永崎地区の人々の笑顔のため				